



日本薬学会 医薬化学部会 創薬人育成事業
東海地区10大学連携 創薬人育成スクール

ビギナーコース講演会

くすりをデザインする ～タネをみつける、育てる～

住友ファーマ株式会社 リサーチディビジョン 化学研究ユニット
第2グループマネージャー
吉田 耕三 先生

日時：7月14日(木) 16時40分～17時40分

場所：名古屋市立大学薬学部 宮田専治記念ホール

【概要】医薬品の研究開発には長い時間がかかり、対象となった候補品の多くは途中段階で開発が断念されるなど、新薬の開発を成功させるのは非常に難しいことです。そのため製薬企業では“くすり”を創出するために様々な研究を行っています。今回の講演では、前半に基本的な創薬研究の流れを説明し、後半で創薬の探索研究の事例を紹介したいと思います。

低分子医薬品の探索研究では、起点化合物からリード化合物を定め、その最適化研究にて開発候補品を創出していきます。起点化合物を取得するにも様々なアプローチがあり、最適化研究においては種々の課題解決のために化合物デザインを行っています。どうやって起点化合物を取得し、課題解決をどのような化合物デザインで行ったのか、社内事例をいくつか紹介する予定です。

※ 主として薬学部生対象：薬学概論I、薬学概論II、創薬科学・知的財産活用論の関連講義として実施します。

※ 参加費無料

世話人/問い合わせ先

中川 秀彦 (名古屋市立大学大学院薬学研究科)

deco@phar.nagoya-cu.ac.jp